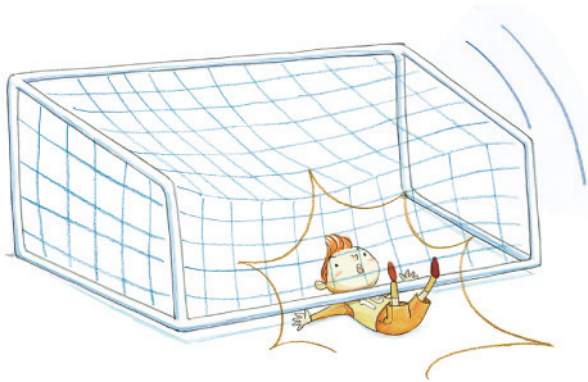


ゴールはぶらさがるとたおれてくるよ

ゴールにぶらさがったり強くゆらしたりすると、ゴールがたおれてくるよ。
ゴールの下じきになると、大きなけがをするかもしれないんだ。



ゴールの下じきになるとこんなに危険!

サッカーゴールがたおれるとどれくらいの力がかかるのだろう？
じっけんをして、はかってみたよ。(一般用サッカーゴールの場合)

ほねがおれる
10倍くらいの力

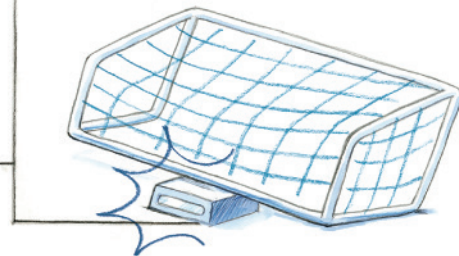
鉄製サッカーゴール

ほねがおれる
6倍くらいの力

アルミ製サッカーゴール



人間のほねが
おれるくらいの力



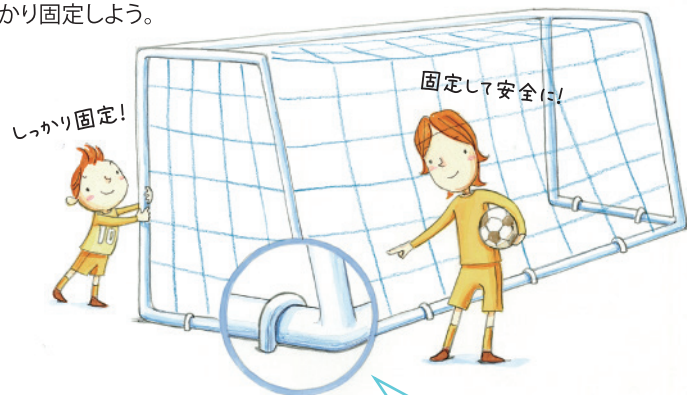
ゴールはかたくて重いから、下じきになると
頭や体のほねがおれてしまうんだ。

子どもがひとりで
ぶらさがっただけでも、
たおれてしまうよ。



ゴールを固定して安全に使おう!

ゴールは強い風がふいてもたおれないように、
しっかり固定しよう。



安全性と利便性を両立させた固定器具
埋め込んでおけばチェーンで巻いて簡単固定



第11回 キッズデザイン賞
特別賞「東京都知事賞」受賞
子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門
「サッカーゴール転倒防止固定設置」

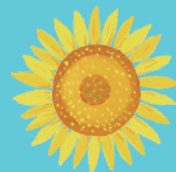
RUI-TAKA 株式会社 ルイ高

**強度・移動の簡易性に
優れた固定器具**

土や芝の地面、アスファルト
にも設置可能



フレパグ 有限会社 太悦鉄工



ひまわりをシンボルに 「ゴール等固定チェック」活動

NPO 法人 Safe Kids Japan では、1月13日を「サッカーゴール等固定チェックの日」と定めています。これは、2017年1月13日に福岡県大川市内の小学校で、また、2004年1月13日に静岡県静岡市内の中学校で、ゴールの転倒により児童・生徒が亡くなったことによります。

Safe Kids Japan では、大川市の小学校で亡くなられた梅崎 晴翔くんが祖父の清人さんに「ひまわり」を託したことにちなみ、ひまわりをゴール等固定チェック活動のシンボルとしています。

東脊振中学校 (佐賀県)



杭は常に3本以上
打ち付けています

はるとくんのひまわり

2017年1月13日、体育の時間にハンドボールのゴールキーパーをしていたうめぎきはるとくんは、たおれてきたゴールの下じきになってなくなってしまった。小学校4年生だった。

はるとくんは花が大好きだった。なくなる少し前、はるとくんはおじいちゃんに「ひまわりのタネ」を持ってきた。なぜ持ってきたのかはわからない。おじいちゃんの家大きな畑にタネをまいてほしかったのかもしれない。

2018年6月、はるとくんのおじいちゃんは畑にひまわりのタネをまいた。畑いっぱいひまわりが咲いた。そのことが西日本新聞にのって、遠くからひまわりを見に来た人もいた。

おじいちゃんは「学校でひまわりを育て、みんなで学校の安全について考えてほしい。空の上のはるとにも見えるよう、日本中の学校でひまわりを咲かせてほしい」とおっしゃっている。

ゴール固定活動に賛同し、この活動にご協力いただいた方に、
梅崎 清人さんから送っていただいた「ひまわりのタネ」を差し上げます。

詳しくはこちら：<https://safekidsjapan.org/>



ひまわりのタネ



畑いっぱいのひまわり



晴翔君の祖父、梅崎清人さん